

産業廃棄物処理計画書

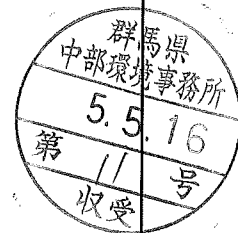
令和5年 5月16日

群馬県知事 あて

提出者 〒372-0022
 住所 群馬県伊勢崎市日乃出町645
 氏名 (株)岩瀬工務店 代表取締役 岩瀬正範
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0270-25-5075

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)岩瀬工務店
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市日乃出町645
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
②事業の規模	元受け完成工事高 約6.1億円
③従業員数	15名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら、アスコンがら等すべてが、以下の処理工程となります。 1.各工事現場にて解体、取壊し（この時分別を実施） 2.自社または委託業者にて各所処理施設は運搬（この時マニフェスト伝票にて管理） 3.各種産廃処分施設にて処分依頼、実施（この時マニフェスト伝票にて確認）



(管理体制図)							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">統括責任者:代表取締役</div>							
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">廃棄物処理総括担当:専務取締役</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">産廃処理管理委員会</div> </div>							
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;">各現場産業廃棄物の処理管理担当</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">事務スタッフ</div> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; margin: 10px auto;">資材管理係員</div>							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度 (R4年度) 実績】						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">産業廃棄物の種類</td> <td style="width: 35%;">がれき類</td> <td style="width: 35%;">廃プラスチック類</td> </tr> <tr> <td>排 出 量</td> <td style="text-align: center;">2803.2 t</td> <td style="text-align: center;">23.405 t</td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	排 出 量	2803.2 t	23.405 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類				
	排 出 量	2803.2 t	23.405 t				
(これまでに実施した取組) 分別解体を心掛ける。 再利用できる資材は、再利用する。 工事の施工計画時に、発生量を抑制できるような工法、方法を検討し実施する。							
【目標】							
②計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">産業廃棄物の種類</td> <td style="width: 35%;">がれき類</td> <td style="width: 35%;">廃プラスチック類</td> </tr> <tr> <td>排 出 量</td> <td style="text-align: center;">900 t</td> <td style="text-align: center;">20 t</td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	排 出 量	900 t	20 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類				
	排 出 量	900 t	20 t				
	(今後実施する予定の取組) 現場での分別解体を徹底し、再利用を促進する。 施工時に無駄が出ないように必要量以外の資材を発注、使用しない。						
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、アスコンがら、廃プラ類、ガラスくず、金属くず、木くず、がれき類、廃石膏などをコンテナ等を利用して各種分別している。							
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も同上の種類を分別解体を進め、徹底する。 引き続き、各スタッフに分別解体に対する注意を促す。							
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、アスコンがら、廃プラ類、ガラスくず、金属くず、木くず、がれき類、廃石膏などをコンテナ等を利用して各種分別している。						
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も同上の種類を分別解体を進め、徹底する。 引き続き、各スタッフに分別解体に対する注意を促す。						

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	金属くず	紙くず
17.2 t	12.35 t	2.88 t	1.88 t

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	金属くず	紙くず
15 t	10 t	2 t	1 t

汚泥			
0.072 t	t	t	t

汚泥			
0.1 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用はしていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） 自ら中間処理はしていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組）			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う埋め立て処分、海洋投入はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	2803.2 t	23.405 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2803.2 t	23.405 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 各工事現場で分別解体後、各種適正処理業者へ委託。		

(第4面) - 2

t	t	t	t

t	t	t	t

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	金属くず	紙くず
17.2 t	12.35 t	2.88 t	1.8 t
t	t	t	t
17.2 t	12.35 t	2.88 t	1.8 t
t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

汚泥			
0.072 t	t	t	t
t	t	t	t
0.072 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	900 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	900 t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
各工事現場でさらに適切な分別解体後、各種適正処理業者へ委託。			
※事務処理欄			

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	金属くず	紙くず
15 t	10 t	2 t	1 t
t	t	t	t
15 t	10 t	2 t	1 t
t	t	t	t
t	t	t	t

汚泥			
0.1 t	t	t	t
t	t	t	t
0.1 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。